

# 教科名 美術科 3年生評価計画

観点については、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度、とする。

指導単元	観点	単元の評価規準 学習評価表	具体的評価目標 おおむね満足 B	評価方法 場面
日本美術史	① ② ③	鑑賞活動を通して日本美術の概要や固有の特徴などについて興味や関心を持つことができる。 ・時代や社会の変化、諸外国との交流に着目して日本美術を鑑賞し、理解することができる。 ・文化や伝統として受け継がれてきた日本美術の美意識や創造的な心などについて理解することができる。	・鑑賞活動を通して日本美術の概要や固有の特色などを積極的に調べ、深く味わおうとする。 ・時代の変化や諸外国との交流に着目して日本美術の美しさや、独創性を感じ取ることができる。 ・文化や伝統として受け継がれてきた日本独特の美意識の良さや受け継がれてきた日本独特の美意識を尊重し、見方や感じ方を深めることができる。	ワークシート ペーパーテスト
透視図法	① ② ③	・透視図法を理解し立体表現に生かせるよう、理解を深める。	・透視図法の作図法を理解し、立体表現に生かすことができる。	ワークシート ペーパーテスト
点描画制作	① ② ③	・単純な点を打つという行為が描くものに対する意識や点の密度によって絵画表現につながることを理解する。 ・画面の構成や画面トリミングで表現が変化することを理解する。	・何を意識して点を打てばよいのかを考え、表現することができる。 ・自分の作品を客観的に見つめ、美しく表現することを理解し、作品制作を味わうことができる。	点描画作品
金屏風制作	① ② ③	・きらびやかな金屏風の特性を理解し、丁寧な作業で現代版の金屏風を制作する。 ・自分独自の主題を発想し画面を構成する。	・自分自身の興味の中から主題を見つけ、表現方法を工夫して伝えたいことを表現することが出来る。	下図 金屏風作品 ペーパーテスト

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の作品から良さを発見し、深く味わおうとすることが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の作品から、作者の意図を感じ取り、独自の視点から味わうことが出来る。</li> </ul>	
落款制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>①</li> <li>②</li> <li>③</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工芸作品の用途に合った機能美に気づくことが出来る。</li> <li>・篆刻文字やその他の書体について独創的なデザインや安定したデザインなどの良さを表現できる。</li> <li>・陰刻と陽刻の違いを理解し、丁寧に表現が出来る。</li> <li>・柄の部分のデザインは用途にあった形を考えて表現することが出来る。</li> <li>・研磨することの手順を理解し表現することが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある工芸作品を考え、機能美や用の美を表現することが出来る。</li> <li>・複数の書体で、独創的なデザインや安定的なデザインを想像することができる。</li> <li>・篆刻刀を使い美しく彫り上げることが出来る。</li> <li>・素材の良さに気づき、その良さを引き出すように造形することが出来る。</li> <li>・丁寧に研磨をし、素材の温かさや美しさを表現できている。</li> </ul>	デザイン画 篆刻作品